

中島祇園祭【なかしまぎおんまつり】

開催場所	中島地区
開催日	7月26日 7月の第4土曜日

【芸能の概要】

中島祇園祭は中島の4地区から3つの山車とひとつの行列が繰り出す。下町の「獅子山」は、明治5(1872)年にできたもので、連結した2台の山車の前の山車についた、からくり仕掛けの小獅子が、後ろの山車に乗った囃し方の笛や太鼓に合わせて踊る。

【芸能の特徴】

八剣神社は1843(天保14)年に建立され、当時は矢部川沿いに位置したが、水害のため流失した。現在地に移転した後も、昭和24年の大火により焼失したが、昭和32年に再建された。中島祇園祭の起源は定かでないが、神社建立と同時に始まったと伝えられる。祇園祭の開始当初は、大蛇山のみが巡行していたといわれている。獅子山は1872(明治5)年から祇園祭に加わったとされるが、山車は柱や屋台骨の差し替えなどで様変わりしている。祇園祭はかつては旧暦6月15日に行われていたが、後に7月第4土曜日に変更された。第二次大戦中および、また、昭和40~47年の間は休止した。獅子山には、明治以前から受け継いできた囃子が3曲あったが、この休止の期間にそのうちの2曲が失われた。現在は1曲のみを継承しているが、近年、楽譜が他所から伝えられ、残る2曲の復活に努めている。

【使用する祭具・道具など】

囃子は中太鼓・三味線・横笛から構成される。かつては「では」「じゅうぜんじ」「おしぐるま」の3曲が伝わっていたが、現在確実に継承されているのは休